



平成16年に発見された七日市長岐邸の棟札(破魔矢)



この破魔矢は、平成16年に七日市長岐邸(市指定文化財)の座敷部分の天井裏から見つかったもので、全長2・46mと大きなものです。矢の「羽」にあたる部分には墨で「文政十三年 庚寅十一月十日」(※)、「大工棟梁坊沢村清三郎」(かたえいろう)、「木挽当村彦左衛門」等の文字が書かれています。 ※文政十三年(西暦1830年(177年前))

長岐家は佐竹侯入国後、代々七日市村の肝煎(村落の長)を務めた由緒のある家柄。歴代藩主の藩内巡視の際には本陣(宿泊所)にもなりました。現在の建物は一部は改修されていますが、往時の面影を今に伝え、また棟札の大きさなどからも、肝煎屋敷としての風格がしのべれます。

市教育委員会では、遺跡の出土品や先人が残した貴重な文物を文化会館の収蔵庫などで保管・管理しています。その中の一つ、藩世期に建物の棟札として使われた破魔矢をご紹介します。正月の縁起物として知られている破魔矢は、古来から、家屋を新築するときの上棟式で棟木に飾り家の邪気を払う「魔除け」として使われることもありました。

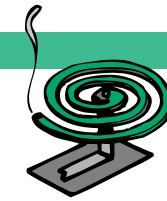
貴重な文化財を保管、後世に 七日市「長岐邸」の破魔矢(棟札)をご紹介します

学びの広場

- 公民館活動 ● 生涯学習
- 文化振興 ● 学校 ● スポーツ

地域で学び、活動する
皆さんを応援します

北秋田市
教育委員会



沢口公民館の移動講座では7月12日、新緑の十二湖と千畳敷を訪ねました。

公民館出発後、2時間ほどで十二湖に到着、幾つかの湖面を車中から見ながら青い色の湖水で知られる「青池」に向かいました。出発時には雨の降りそうな天気でしたが、雲間から日が差し始め、湖面に照り映える日の光と青インクを流し込んだように真っ青な湖水が織り成す神秘のハーモニーに一同感嘆の声を発しました。

深緑の十二湖と千畳敷を探索

沢口公民館移動講座



◀ 沢口公民館移動講座で訪れた千畳敷と参加者の皆さん

千畳敷では、その広さに改めて驚きながら海の空気を存分に吸い込み、明日への鋭気を養いました。

出演団体・出展者を募集します

北秋田市文化祭◇「演示」及び「展示」部門

北秋田市文化祭が11月3日～4日の3日間、市文化会館と阿仁公民館(ふるさと文化センター)等を会場に開催されます。教育委員会では、下記のとおり出演者(団体)・出展者を募集します。

- 期日 平成19年11月2日・3日・4日
 - ▽ 「演示部門」会場 北秋田市文化会館
申込書提出期限 8月31日
 - ▽ 「展示部門」会場 阿仁公民館等(阿仁地区)
申込書提出期限 9月14日
- ※申込用紙は各地区公民館にありますので期限までに提出下さい(期限厳守)。

■ 申込・問い合わせ先

▽ 鷹巣地区=中央公民館

☎ 62-1130
FAX 62-1669

▽ 合川地区

= 合川公民館
☎ 78-2114
FAX 78-2106

▽ 森吉地区=森吉公民館

☎ 72-3259 FAX 72-3374

▽ 阿仁地区=阿仁公民館

☎ 82-2220 FAX 82-2221



昨年度の演示発表

幻想的なホタルの光に歓声

鷹巣子ども会育成連絡協議会「ホタルを楽しむ夕べ」

北秋田市鷹巣子ども会育成連絡協議会(湊屋啓二会長)の「ホタルを楽しむ夕べ」が7月15日(日)夜、浦田字白坂周辺で行われ、家族連れなど約40人が暗やみの中のイルミネーションを楽しみました。

会場は、内陸線白坂踏切そばの農地。周辺の水路などに内陸線の職員が養殖させたホタルが放流されており、秋田内陸線電車の乗客が車窓から鑑賞することもできる場所です。

参加者は、ホタルの養殖にかかわっている秋田内陸線職員や白坂自治会の田崎久さんの案内で付近を散策しました。

この日は少し風があり、ホタルが見られるかどうか心配されましたが、少し待っていると沢や水田で明かりを明滅させながらホタルが飛び交い、子どもたちが夏の夜の幻想的な光景に歓声を上げていました。



◀ 親子連れなどが参加した「ホタルを楽しむ夕べ」

グラウンドゴルフにチャレンジ

中央公民館講座「ハツラツ健康倶楽部」

第3回目の「ハツラツ健康倶楽部」が7月12日、空港ふれあい緑地で開催され、ニュースポーツの一つ「グラウンドゴルフ」にチャレンジしました。

受講生は、鷹巣グラウンドゴルフ協会の皆さんから基本的なルールなどの説明を受けた後、チームごとにゲームを楽しみました。

広々とした会場で心地良い汗を流し、またホールイ



◀ グラウンドゴルフにチャレンジした「ハツラツ健康倶楽部」

ンワンが出たときには大きな歓声が飛び交うなど交流の輪も広がりました。

鳥・花など森吉山の自然を体験

森吉公民館「ふるさと教室」

米内沢小学校の5年生32名が7月10日、晴天の下、森吉山登山を行いました。阿仁スキー場のゴンドラに乗り、大きなリュックを背負って山頂を目指しました。

途中、ガイドボランティアから木や花の説明を受け、事前に調べていた資料と見比べながら2時間ほどで全員が山頂に到着しました。

山頂では、疲れた様子もなくみんなが美味しくそうにお弁当をほおぼり、登頂の記念に集合写真を撮りました。ウグイスやカッコウなどの鳴き声を聴き、またイワ



◀ 野鳥の鳴き声、山野草など森吉山の貴重な自然を体験しました

カガミやニッコウキスゲなどの花、ブナやモロビ(アオモリトドマツ)など豊かな自然に触れ、森吉山を身近に感じられる体験となりました。